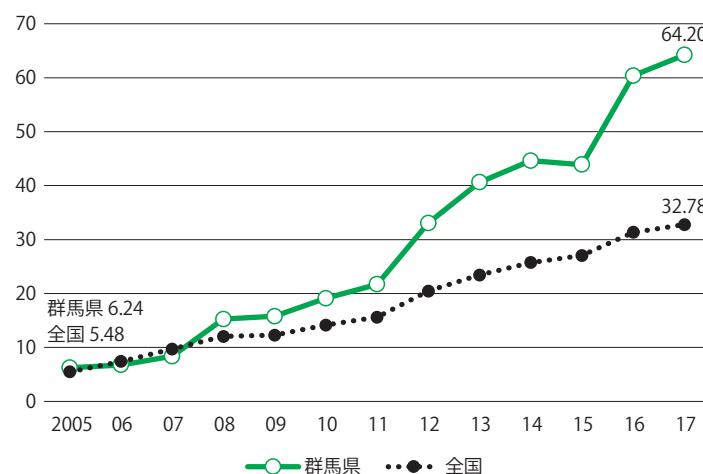


- 群馬県は高齢者向け住まいが充実している。高齢者向け住まいはいくつかの種類に分かれるが、その中でも施設数が多く、分かりやすいものとして有料老人ホーム^(注)がある。
- 群馬県の65歳以上人口10万人当たりの有料老人ホーム数は、2017年度では64.20施設と全国平均32.78施設の約2倍で、全国7位となっている（図表1）。
- 近隣県をみると、埼玉県25.63（29位）、茨城県16.00（41位）、栃木県13.99（42位）となつており、群馬県は非常に多い。
- 過去の推移をみると、05年から07年までは群馬県は全国と同程度であったが、08年以降その差を広げ、現在に至っている（図表2）。
- 有料老人ホームの運営業者やコンサルタント、行政などのヒアリングを参考にすると、群馬県の有料老人ホーム数が多い要因としては、①全国と比べ早い段階から事業者が有料老人ホームに取り組む一方、行政の理解があった、②地価が相対的に安いため初期投資が少なく、入居費用が抑えられることから、事業の採算が見込みやすかった、③東京都など大都市から距離が近く、また入居費用が相対的に安いことから、大都市から入居者を集めやすかった、などが考えられる。

図表1 有料老人ホーム数（65歳以上人口10万人当たり）の都道府県別順位（2017年度）

順位	都道府県	施設数
1	宮崎県	109.47
2	沖縄県	97.36
3	青森県	95.82
4	大分県	78.75
5	熊本県	77.59
6	佐賀県	70.00
7	群馬県	64.20
中 略		
29	埼玉県	25.63
中 略		
41	茨城県	16.00
42	栃木県	13.99
以下略		
全 国		32.78

図表2 群馬県、全国の有料老人ホーム数（65歳以上人口10万人当たり）の推移



(注) 老人ホームと有料老人ホーム

1. 老人ホームは、有料老人ホームを代表とする民間施設と特別養護老人ホームを代表とする公的施設に大別される。
2. 有料老人ホームは、老人を入居させ、①食事の提供、②介護（入浴、排せつ、食事）の提供、③洗濯・掃除等の家事の供与、④健康管理、のいずれかのサービスを提供する。
3. 特別養護老人ホームは、比較的費用が安く、充実した介護が受けられることから人気が高く、入居待ちの状態が続いている。そのため、有料老人ホームをはじめとする民間施設は、その受け皿として施設数の増加が続いている。

資料：厚生労働省「社会福祉施設等調査」、総務省「国勢調査」「人口推計」をもとに当研究所で作成

(担当：櫻澤広祥)